

園だより No.45 最終号

～地域とともに歩む幼稚園へ～

令和4年3月15日

福島市立庭塚幼稚園

一年間ありがとうございました

令和3年度もまもなく終わろうとしています。コロナ禍の中、前向きに子どもたちを支え、温かく見守ってくださった保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

幼児教育は、「(成果が)見えにくい教育」と言われています。

そのため、成果が見えやすい「早期教育」が流行し、文字の読み書きや英語教育、数の計算等の直接指導が行われることがあります。

市立幼稚園では、直接文字の指導等をすることはありませんが、「子どもたちの発達と興味関心」を見極め、毎日の生活の中に取り入れています。

<牛乳運び> 当番のお子さんが、職員室へ牛乳を取りに来ます。

その時の子ども達と園長先生のやりとりにです。

年少「何本あるか教えてごらん」

→牛乳の本数を「数える」ことで、数の数え方が身に付いていきます。



年長「あと何本ほしいか考えてごらん」

→意図的に牛乳の本数を減らしておき、あと何本必要かを考えられるようにしています。「足し算」「引き算」の感覚をつかんでいきます。



特別な講師が来てその時間だけ「教える」のではなく、「いつも一緒にいる大好きな人」が、生活の中で「自然と身に付くように」成長を支えます。

そして、「子どもの発達段階を知り、今何が必要かを考え指導する」のが、市立幼稚園の保育のよさだと考えています。

庭塚幼稚園で蒔いた心の種が、どんな芽を出し、茎を伸ばし、花を咲かせるのか…一人一人のこれからの成長を楽しみにしています。

離れていても、私達はお子さんと保護者の皆様をずっと応援しています！

人格形成に大切な「幼児期」を私達に託していただいたこと、感謝しております。皆様に会えて幸せです。一年間、本当にありがとうございました。

庭塚幼稚園 職員一同

